

15年の節目祝い発表会

中泊健康ダンス「べえ子ちゃん」発表会・受賞報告会

ダンスを通じ、会員の健康とボランティア活動を行っている健康ダンスグループ「べえ子ちゃん」が7月15日(日)、パルナスで発表会と報告会を行いました。

丑年に誕生したことから「べえ子ちゃん」と名付けられた同グループは、今年で創立15周年。今回の発表会は、それを記念するものとして催されました。また、同グループは今年、ニッセイ財団の「生き生きシニア活動顕彰」を受賞したことから、今回はその報告も兼ねて行われました。

125人が参加した会では、町長、県すこやか福祉事業団佐々木理事長のあいさつに続き、県レクリエーション協会塩谷会長の「指笛演奏」、会員のダンス披露など、楽しく和やかに過ごしました。会員たちは「ダンスが健康長寿の秘訣」と語り、健康ダンスの成果を実感していました。



多くの大会で優勝・上位入賞

柔道「中里誠心塾」快進撃続く

中里誠心塾の子どもたちが次々と好成績を残しています。同塾では県内各地で大会に出場していますが、すでに2人が全国大会出場を決めるなど、快進撃が続いています。

このうち、全国出場を決めた今楓香(薄市小5年)さんは「全国決めた瞬間は、超うれしかった。得意の背負い投げで全国でも渡り合い、優勝目指したい」と力強い言葉が聞かれました。

■主な出場大会…①全国少年柔道県予選(3月25日)②知事賞県少年学年別柔道選手権大会(4月15日)③スポーツひのまるキッズ東北小学生柔道大会(6月17日)④全国小学生学年別柔道大会県予選会(6月24日)⑤県少年柔道大会(7月1日)

■結果…今楓香(薄市小5年)①団体3位②個人優勝④個人優勝(全国出場決定)/葛西大悟(武田小4年)①団体3位②個人優勝⑤団体3位(全国出場・県選抜)・個人準優勝/川島凌希(薄市小6年)①団体3位/桑田亮太(喜良市小6年)①団体3位/野上莉来奈(薄市小4年)①団体3位②個人3位③個人優勝⑤団体3位・個人3位/片山雄心(武田小4年)⑤個人3位/佐井川陽舜(武田小4年)⑤団体3位/佐藤顕立(武田小3年)⑤団体3位/奈良竜登(薄市小3年)⑤団体3位/田中愁人(中里小1年)⑤個人3位/葛西卓人(武田小1年)③個人準優勝

卓球戦士のかけ声館内に響く

第8回津軽地区小学生卓球大会

日頃の練習の成果を試す卓球大会が7月1日(日)、町体育センターで行われ、小学生卓球選手が腕を競いました。

この日は、西北五つがる地区のほか、遠くは六ヶ所村など県内各地から約300人が参加。サーブやスマッシュなどで得点が決まると、大きな声でガッツポーズする姿が随所に見られました。町出身選手は、あと一歩で勝利を逃がすなど惜しい結果でしたが、健闘が光った大会でした。

■優勝者…小学1・2年男子 齋藤瑤(弘前卓球センター)/小学1・2年女子 田中結南(平内卓王会)/小学3・4年男子 瀬川吏玖(六ヶ所クラブ)/小学3・4年女子 林瑞紀(弘前卓球センター)/小学5・6年男子 對馬悠(大三大成小)/小学5・6年女子 藤井柚花(弘前北スポ少)



立ち直れる地域の確立目指して

町長に「社会を明るくする運動」メッセージ

少年の更生や、犯罪・非行防止などを目的に行われる「社会を明るくする運動」。町に在住する保護司と更生保護女性会11人が、7月2日(月)町内をパレードするのに先立ち、町長に法務大臣と県知事のメッセージを伝達しました。

この運動は全国で行われ、今年で62回目。保護司会の2人が大臣と知事のメッセージが読み上げ、町長に手渡しました。町長は「大変な世の中だが、皆さんのおかげでどうにか町は平穏に過ごせている」とねぎらいの言葉をかけていました。一行は、このあと町内9施設を巡回し、立ち直りを支える“地域のチカラ”の大切さを強調していました。



スポーツ・芸能で交流深める

北郡老人クラブ連合会が交流会

スポーツや芸能で交流を深めようと7月12日(木)、町体育センターで北郡老人クラブ連合会スポーツ・芸能交流会が開かれました。

この日は、町や鶴田町から総勢約500人が参加。白岩隆逸大会長が「青春まっただ中、一番若い『今・この時』を楽しみましょう」とあいさつし、交流会がスタートしました。

前半のスポーツ大会では、町老連代表の加藤蓉子さんの選手宣誓後、玉入れ競技などのスポーツを通して、仲間と健康の喜びを分かち合っていました。後半はお待ちかねの芸能交流会。繰り広げられる歌と踊りを堪能し、参加者は笑顔で交流を楽しんだ1日となりました。



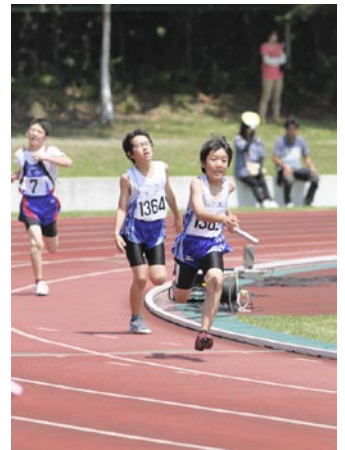
小学生アスリート熱戦繰り広げる

第8回津軽地区小学生陸上競技交流大会

運動公園陸上競技場で7月22日(日)、今年で8回目の開催となる津軽地区小学生陸上競技交流大会が行われました。

この大会は、合併前は「井沼清七杯争奪リレーカーニバル」として開催されていた大会で、合わせると今年が22回目の開催となる由緒ある大会です。この日は気温が上がり、汗ばむ陽気の中大会は行われましたが、町内外から集まった小学生ランナー約400人は、声援を受けながら、日頃の練習の成果を存分に発揮していました。

■4年男子100m 6位 藤本卓磨(中里小)／6年男子100m 4位 越野彪雅(中里J)、6位 神拓帆(中里J)、8位 川島凌希(薄市小)／男子共通ソフトボール投 4位 松谷春(薄市小)／4年女子100m 7位 藤崎琴梨(中里小)／6年女子100m 8位 小笠原唯(中里J)



白球追いかける球児に歓声

健やか少年野球大会

小泊ふれあい運動場で7月26日(木)～26日(金)の2日間、「若い芽を健やかに伸ばそう」をスローガンに、健やか少年野球大会が行われました。

町教委主催のこの大会には、小学校7チームと中学校4チームの合計約150人が参加。雨で1日順延されましたが、小学校の部・中学校の部とも、大会は無事終了しました。

会場では、球児の元気いっぱいではつらつとしたプレーに、応援に訪れた保護者などから大きな声援が送られていました。

■中学校の部 優勝 中里中



競技力向上と国際交流胸に誓って

青少年スポーツ国際交流使節団が結団式

柔道を通じて競技力の向上と国際交流を図る使節団の結団式が7月9日(月)、役場青年研修所で行われ、中学生8人を含む総勢13人と保護者が出席しました。

はじめに1人1人に団員証が手渡され、町を代表する使節団の団員となったことに緊張の面持ちでした。式の最後には、団員を代表して奈良翔太くんが「派遣された経験を生かし、町のスポーツや国際交流にとって多いこととなるよう、精一杯がんばってきます」と誓いの言葉を述べました。

今回の使節団は、当町出身の著名柔道家 米塚義定氏との縁を頼りに米国へ派遣するもので、一行は7月29日(日)～8月3日(金)の日程で、ニュージャージー州クラフォード町での練習・親善試合などを行ってきます。広報9月号で、子どもたちの奮闘ぶりを紹介する予定です。



海岸には、打ち上げられている漁具の破片や、ジュース缶など、ありとあらゆるゆるごみが散乱していて、この日集められたごみは約1.5トンにも上りました。

小泊の海岸清掃ボランティア

24時間テレビ「こどもクリーンアップ作戦」

みちのく松陰道付近の傾り石海岸で7月2日(月)、海岸清掃を行うボランティア活動「こどもクリーンアップ作戦」が行われました。

これは、24時間テレビの活動の一環として行われており、小泊海岸の美しい景観を守るために行われている活動です。この日の活動には、約150人が参加。小泊中の全校生徒のほか、小泊観光協会、中泊町商工会、小泊漁協婦人部などからの参加者が、ていねいにごみを拾い集めました。

広告

既にお支払いの終わった方も10年以内であればお金を取り戻せる場合があります！

任意整理・過払い金返還請求
個人再生・自己破産

借金問題解決致します

「借りたのは自分だし…」「借りたものは返さないと…」
「悪いのは自分だから…」と自分を責める前にまずはご相談を！
既に亡くなった方にも過払い金が発生している場合があります！

- 借金を減額した上で、元金のみ分割払いを目指します。
- 過払い金返還高額目標(書類なし、記憶が曖昧でも大丈夫!無料で調査)
- ご依頼者のプライバシー厳守 ●費用分割払いOK ●成功報酬は後払い
- 受任後の着手金は分割払い可(1社18,900円) ●完済案件は着手金無料!
(ご家計の収支状況を伺いつつお支払方法を柔軟に対応致します。)



これまでに津軽における相談会を10回以上開催しております。ご年配の方、お忙しい方にはご都合に合わせてお話を伺いに参りますので、お気軽にお電話下さい。ご相談は無料です。

弁護士 中島賢悟 東京弁護士会所属登録番号34985号

まずは
お電話
下さい

0120
FreeDial

0120-113-314

ご予約受付時間 平日・土日祝日/10:00~20:00

セキュアトラスト法律事務所

東京都渋谷区渋谷1-8-3 TOC第一ビル5F TEL.03-5774-1521(代表) Mobile http://saimu0.net (24時間受付)

観光シーズン到来に合わせ交通安全呼びかけ

安協小泊支部が折戸地区で街頭活動

夏休みに入り、本格的な観光シーズンが到来したことに合わせて7月22日(日)、五所川原地区交通安全協会小泊支部が、折戸地区の交差点で交通安全を呼びかけました。

活動に先立ち、白岩支部長が「観光シーズンに入ると事故が多くなる。事故防止に尽力願いたい」とあいさつ。そのあと、国道339号線を通るドライバーたちに声をかけ、クマをあしらった反射材と、ティッシュ、チラシを200組配り、交通安全を呼びかけていました。

小泊支部は、7月16日(月)で交通死亡事故ゼロ1500日を達成したそうで、その表彰を受けてきたそう。白岩支部長は「交通事故は被害者も加害者も大変。安全運転が一番だ。この記録を2000、2500日と伸ばしていきたい」と誓いを新たにしていました。



農業女性たちの体験を意見交換

町農村活性化施設でセミナー

グリーン・ツーリズムをテーマに、農業女性たちを経営参画させる狙いで6月27日(水)、直売所「ピュア」横の活性化施設で「グリーン・ツーリズム等体験メニュー開発セミナー」が開かれました。

このセミナーは、西北地域県民局の農業普及振興室が行ったもので、グリーン・ツーリズム実践者など約30人が出席。最初は「豊かな地域資源を共有し、農林水産業を活性化」と題した講話で、弘前市の(有)ANEKKO代表取締役 村上美栄子さんが、同市の総合交流拠点施設のオープンから加工品の開発まで、体験談を織り交ぜながら語りました。

そのほか、実践者による事例発表や、意見交換を実施。町からもグリーン・ツーリズムの会「かけはし」が自分たちの成果を紹介し、同じ取り組みをする参加者と活動の状況を意見交換しながら、景観や農作物などの地域資源をどうやって活用するのか、方法を模索していました。

健康づくりと学ぶ心持った49人入学

中央公民館で県老連健康福祉大学校入学式

老人クラブの活性化やリーダー育成、健康づくりなどを目的に6月29日(金)、中央公民館で県老連健康福祉大学校の入学式が行われ、高齢者49人が入学しました。

この“大学”は、平成8年から県老人クラブ連合会が行っているもので、入学する49人に対して、同連合会の今本会長があいさつ。続いて開催地の白岩会長が「老人クラブに入る人が少なくなっている。入学者には、ぜひリーダーとしてがんばってもらいたい」と話しました。

式では、入学者に学生証が交付され、代表して秋元正美さん(豊島地区)が「地域の人々との連携を深め、明るく健康な長寿社会を目指す」と誓いのことばを述べました。

この大学は、11月の卒業まで計10回行われる予定で、ウォーキングやそば打ち、グラウンドゴルフ、悪徳商法の撃退法など、バラエティに富んだ講座が展開されるそうです。



バンド演奏を生で味わう

小学校芸術鑑賞会

小学校児童への情操教育の一環として7月17日(火)、芸術鑑賞会がパルナスで行われました。

町教委が主催するこの会へは、町内の全小学校児童約500人が集合。今回はテーマが「生バンド演奏をきこう！」ということで、むつ市出身の歌手マミーシノさんと、青森出身ピアニスト小松由美子さん、サウンド・ベアーズの皆さんが奏でる生演奏に聴き入りました。

演奏の途中には、パーカッション体験も開催。代表して4人の子どもたちが、さまざまな打楽器を曲に合わせて演奏し、大きな拍手をもらっていました。



ブルーベリー収穫体験でふれあい

中里・薄市保育所児童が農家と

大沢内地区でブルーベリー農園を営む長利和子さんが7月17日(火)、自分の農園で子どもたちに摘み取り体験の場を提供。中里・薄市保育所あわせて24人の子どもたちとふれあいました。

長利さんは、毎年体験農園を行っています。今月の農園オープンとかけ、子どもたちを招待。地域への貢献活動の一環として行いました。

最初に子どもたちがブルーベリーについて、長利さんにいろんな質問をしたあと、いよいよ農園での摘み取りを体験。濃い紫色になったブルーベリーの実を次々と摘み取り、その場で口に頬ばって味わいました。初めてブルーベリー収穫を体験した子がほとんどで、「甘酸っぱくておいしい!」と一様に笑顔でした。

年に1回のおまつり地域と楽しむ

高齢者生活福祉センターで「夕涼み会」

地域の人たちや施設利用者、家族などがお互いに交流を深めようと7月21日(土)、高齢者生活福祉センターで夕涼み会が開かれました。

これは、町社会福祉協議会が行っているもので、センター前の広場に特設会場が設けられ、デイサービス利用者約80人がカラオケやじゃんけんゲーム、福引き、よさこいなどを楽しんでいます。

また、会場には出店も置かれましたが、社協職員のほか中学生7人が販売、片付け、調理の補助などを手伝っており、地域とふれあう機会になったようです。



広報なかどまりは あなたの身近な広告媒体

毎月全世帯に配布される「広報なかどまり」に、広告を載せてみませんか？

広告は5,000円から載せられます。

くわしくは担当まで。

【役場総務課広報係 ☎57-2111 内線162】

広告

「(仮称)津軽十三湖風力発電事業 環境影響評価準備書」の縦覧及び説明会の開催について

五所川原市十三土佐地区、北津軽郡中泊町田茂木地区付近の十三湖周辺で、くろしお風力発電株式会社が計画している風力発電事業に関する環境影響評価の結果を記載した「環境影響評価準備書」を次のとおり縦覧します。

- 縦覧書類 (仮称)津軽十三湖風力発電事業 環境影響評価準備書
- 対象事業実施区域の位置 五所川原市十三土佐地区、北津軽郡中泊町田茂木地区付近
- 縦覧場所 五所川原市：五所川原市役所企画課内、市浦総合支所内
つがる市：つがる市役所企画課内、車力支所内 中泊町：中泊町役場総務課内
- 十三湖土地改良区HP：<http://www.jomon.ne.jp/jsk/>
- 縦覧期間 平成24年8月10日(金)～平成24年9月10日(月)
- 意見書受付期間 平成24年8月10日(金)～平成24年9月24日(月)
- 縦覧時間 上記期間中の午前9時～午後5時まで(土・日・祝祭日を除きます)
- 説明会の開催日時 平成24年8月24日(金) 18:30～20:30
- 説明会の開催場所 内湯公民館(北津軽郡中泊町大字薄市字飛石21-2)

くろしお風力発電株式会社 (電話)090-6934-4047 (担当)見上伸、高橋雅也